

図書館だより

2024年3月374号
釧路市音別町ふれあい図書館
編集者/美村由美子 ☎6-3435



↑本の検索・予約はこちらから↑



↑ふれあい図書館 HP ↑



日	月	火	水	木	金	土
🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸					1	2
3	4	5 POP展示開始	6	7	8	9 ふれあい DAY
10	11	12 出陣 de おはなし会	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23 ふれあい DAY
24	25	26	27	28	29	30
31 POP展示終了	【開館時間】午前10時～午後6時 【休館日】月曜日、第3土曜日・日曜日、祝祭日					新刊紹介は裏面にあります。

今月のふれあい DAY

日時: 3月9日(土) 11:00~11:30
場所: 児童閲覧室(図書館1階)にて
「ぬりえであそぼう」

日時: 3月23日(土) 11:00~12:00
場所: 視聴覚室(図書館2階)にて
映画会: 「くまのアーネストおじさんとセレスティーヌ」

令和5年度 音別中学校 POP 展

昨年ひき続き令和5年度音別中学校 POP 展を開催いたします！
音別中学校生徒の皆さんが、「学校図書室の利用促進」と「本に親しむこと」を目的に制作した POP を展示します！是非足を運んで、借りてみてはいかがでしょうか！

展示期間: 3月5日(火)～3月31日(日)

場 所: 音別町ふれあい図書館内にて



昨年4月に開催した時の写真です。



3月27日は『さくらの日』タイトルに“さくら”が付いた小説を選んでみました!!

おちつきこ 越智 月子 『咲ク・ララ・ファミリア』
いまい えみこ 今井 絵美子 『綺良のさくら』

しゅかわ みなと 朱川 湊人 『サクラ秘密基地』
あやせ 彩瀬 まる 『桜の下で待っている』

かみや まさなり 神家 正成 『深山の桜』



「日本さくらの会が」
1992年に制定。
日付が「3×9(さくら)
27」の語呂合わせです。

3月新刊紹介

一般書・実用書



「どうせ死ぬこの世は遊び人は皆」

中田 考

仕事をやめよう、友達を減らそう、料理をしよう、比較するのをやめよう、自分がしたいこと、できることをしよう。「人生がつらい」感じるすべての人へ向けた、異色の宗教家・哲学博士の30講義。

「お弁当デイズ」/たかぎ なおこ

夫弁当&娘弁当にまつわるお役立ちエピソード。お弁当箱に出現するすきまの埋めテク、幼児が喜ぶお弁当グッズ...実用ネタもたっぷりのお弁当コミックエッセイ。

小説



「ツミデミック」/一穂 ミチ

禍にのまれ、もがき、あがいた人たちが見たそれぞれの世界線

渦中の人間の有様を描き取った、心震える全6話。

犯罪小説集

「スピノザの診察室」/ 夏川 草介

その医師は、最期に希望の明かりをともす。

現役医師として命と向き合い続けた著者が到達した「人の幸せ」とは。

数多の命を看取った現役の医師でもある著者が、人の幸せの在り方に迫る感動の物語。

絵本



「くるくる」 「大ピンチずかん 2」

「あいたいなシマエナガ」

「うきぎたんていミミ」

「まっしろしろくま」



児童書



「物のかたち図鑑」 「ヘルメットのひみつ」

「水を活かす技術のひみつ」

「星空としよかんの王子さま」

「にじいろフェアリーしずくちゃん 8」



2024年1月17日に第170回直木賞大賞が決まりました!!

河崎 秋子さんの『ともぐい』と



万城目 学さんの『八月の御所グラウンド』です。是非、予約をしてみませんか!?

直木賞大賞に伴い過去の大賞の本を選んでみました!!

第167回 窪 美澄『夜に星を放つ』 第166回 米澤 穂信『黒牢城』

第165回 澤田 瞳子『星落ちて、なお』

第163回 馳 星周『少年と犬』 第160回 真藤 順丈『宝島』

*他にもご用意しています。是非、借りてみませんか!?

その他の新刊紹介は表面のふれあい図書館HPのQRコードから...

図書館からの情報は表面に記載しています。








新刊紹介



（一般教養・実用書）



- 中田 考 「どうせ死ぬこの世は遊び人は皆」
- たかぎ なおこ「お弁当デイズ」
- 内山 岳志 「ヒグマは見ている」
- 山崎 賀功 「ヘンな矢印標識」 
- 桑原 晃弥 「藤井聡太の名言」 
- 久保 征章 「魂のみがきかた」
- 江田 証 「まんがでわかる腸の整え方」
- やました ひでこ 「人生が変わる1日1つ断捨離」
- 鈴木 隆子 「はじめてでもそのまま使える
手話会話フレーズ228」
- 加藤 光敏 「ふと、終活のことを考えたら
最初に読む本」
- 坪田 康佑 「老老介護で知っておきたい
ことのすべて」
- 澤野 弘 「伝わる！信頼される！
大人の言いかえ事典」

（絵本）


- 「くるくる」
- 「大ピンチずかん 2」 
- 「あいたいなシマエナガ」
- 「うさぎたんていミミ」
- 「まっしろしろくま」



（小説）

- 秋川 滝美 「深夜カフェ・ポラリス」
- あさの あつこ 「野火、奔る」 
- 一穂 ミチ 「ツミデミック」
- 加藤 シゲアキ 「なれのはて」
- 小林 孝延 「妻が余命宣告されたとき、
僕は保護犬を飼うことにした」
- 坂木 司 「アンと幸福」
- 佐藤 愛子 「思い出の屑籠」
- 小路 幸也 「マンションフォンティーヌ」
- 凧良 ゆう 「星を編む」
- 夏川 草介 「スピノザの診察室」 
- 菅田 哲也 「マリスアングル」
- 町田 そのこ 「夜明けのはざま」
- 湊 かなえ 「人間標本」
- 山本 一カ 「天神参り」

（児童書）

- 「物のかたち図鑑」 「ヘルメットのひみつ」
- 「水を活かす技術のひみつ」 
- 「星空としゃかんの王子さま」
- 「にじいろフェアリーしずくちゃん 8」

「スピノザの診察室」 夏川 草介

その医師は、最期に希望の明かりをとます。

現役医師として命と向き合い続けた著者が到達した
「人の幸せ」とは。

数多の命を看取った現役の医師でもある著者が、人の
幸せの在り方に迫る感動の物語。